

平成 29 年度 夏目漱石関連事業 IN 新宿区立図書館

【展示・イベント等開催報告】

- ◆ 中央・こども図書館 P1
 - ・漱石山房記念館開館記念イベント「大人のための朗読会声優が読む漱石とその弟子たち」
- ◆ 四谷図書館 P2
 - ・「作家になる前の夏目漱石」
- ◆ 鶴巻図書館 P3
 - ・平成 29 年度 鶴巻図書館「夏目漱石」常設資料展示
 - ・児童作家常設展示「夏目漱石」
- ◆ 西落合図書館 P5
 - ・特別展示「漱石山房記念館開館記念 漱石と木曜会の作家たち」
- ◆ 戸山図書館 P6
 - ・第 25 回 朗読で味わう文学 こうばこの会～夏目漱石特集
- ◆ 北新宿図書館 P7
 - ・図書展示「こころに漱石」
- ◆ 中町図書館 P8
 - ・神楽坂まち飛びフェスタ 2017 夏目漱石のしおり配布
 - ・ミニ展示「夏目漱石と神楽坂」
- ◆ 角筈図書館 P10
 - ・夏目漱石と弟子たち（展示）
 - ・ビブリオバトル「ソーセキ」
- ◆ 大久保図書館 P13
 - ・多文化展示 Around the World ～special issue～ 世界の Soseki
- ◆ 下落合図書館 P14
 - ・漱石山房記念館開館記念！ 特別展示「夏目漱石作品への招待状」

夏目漱石関連 事業の取り組み について

新宿区立図書館では、漱石山房記念館の開館にあたり、区民や多くの漱石ファンにとって繰り返し訪れていただけるような魅力的な記念館の PR をするとともに、記念館の機運の醸成を図るため、夏目漱石に関するイベントを開催しました。



中央・こども図書館

事業名称	漱石山房記念館開館記念イベント「大人のための朗読会 声優が読む漱石とその弟子たち」
実施日時（期間）	平成29年9月30日（土） 午後2時～4時
会場等	新宿区立中央図書館4階 イベントルーム
主催・協力期間（協力者）	新宿区立中央図書館
事業内容	漱石山房記念館開館記念として、漱石関連資料の朗読会を開催。主に生活者としての漱石とその住居（漱石山房）及び漱石山房に集まった弟子たちに焦点をあて、参加者に「漱石山房記念館」と明治大正の文学に興味を抱かせることを目的とした。声優を招くことで、これまであまり文学に触れなかった若者等にも、より一層の興味を持ってもらえるよう留意しながら、職員による関連資料のブックトークも豊富に盛り込んだ。
参加人数	38名

<写真等>



四谷図書館

事業名称	「作家になる前の夏目漱石」
実施日時（期間）	平成29年8月11日（金）～9月13日（水）
会場等	新宿区立四谷図書館
主催・協力期間（協力者）	新宿区立四谷図書館
事業内容	漱石山房記念館の開館に合わせて、夏目漱石に興味を持ってもらうために展示を行った。「文豪」としての漱石ではなく、作家になる前の漱石を知ってもらうことにより、親しみを感じてもらえるような資料を紹介した。
展示冊数、貸出総冊数	展示冊数39冊、貸出総冊数69冊

<写真等>



鶴巻図書館

事業名称	平成 29 年度 鶴巻図書館「夏目漱石」常設資料展示
実施日時（期間）	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
会場等	鶴巻図書館 1 階 夏目漱石常設展示コーナー
主催・協力期間（協力者）	主催/鶴巻図書館 協力機関/漱石山房記念館
事業内容	夏目漱石生誕 150 周年を機に、平成 29 年 1 月より漱石コーナーを地下から 1 階へ移し、展示を行っている。毎月、一定数の貸出があり、特に「今月の 1 冊」と題して紹介しているおすすめ図書は貸し出されることが多かった。
貸出（回数）	634 回

<写真等>



鶴巻図書館②

事業名称	児童作家常設展示「夏目漱石」
実施日時（期間）	平成29年4月1日～平成30年3月31日
会場等	鶴巻図書館 2階 児童室
主催・協力期間（協力者）	主催/鶴巻図書館
事業内容	夏目漱石関連の資料を幅広く展示し、地域に馴染み深い「夏目漱石」に、子どもたちの関心を向けることができた。
貸出（回数）	86回

<写真等>



西落合図書館

事業名称	特別展示「漱石山房記念館開館記念 漱石と木曜会の作家たち」
実施日時（期間）	平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 10 月 20 日
会場等	新宿区立西落合図書館 1F エントランス
主催・協力期間（協力者）	新宿区立西落合図書館
事業内容	漱石山房記念館開館を記念して資料の展示を行った。漱石の著作や関連書籍に加え、漱石を中心とする文学サロン「木曜会」に集まった同時代の作家たちの著作も合わせて展示した。
参加人数	展示冊数 45 冊、貸出冊数 36 冊

<写真等>



戸山図書館

事業名称	第25回 朗読で味わう文学 こうばこの会 夏目漱石特集
実施日時（期間）	平成29年9月9日（土） 14:00～16:00
会場等	戸山生涯学習館 学習室C
主催・協力期間（協力者）	主催/戸山図書館（指定管理者株図書館流通センター） 協力/こうばこの会
事業内容	夏目漱石生誕150周年を記念して、今回は夏目漱石作品を朗読して頂きました。「漱石」の名の由来や、新宿との関わりなどエピソードも添えて、楽しんでいただきました。 1. 『柿』、2. 『入社の子』 語り手：かわいいねこ（各約15分） 3. 『坊ちゃん』より抜粋（第2章～第3章）語り手：長村賢治（約20分） 4. 『変な音』語り手：かわいいねこ（約30分） 5. 『文鳥』語り手：工藤健一郎
参加人数	32名

<写真等>



北新宿図書館

事業名称	図書展示「こころに漱石」
実施日時（期間）	平成29年8月18日（金）～10月18日（水）
会場等	北新宿図書館
主催・協力機関（協力者）	ミライト・リブネット共同事業体
事業内容	夏目漱石の著作・関連書籍の展示、ブックリストの配布。 漱石山房記念館開館案内の配布、開館PRのポップなども設置する。
展示冊数	36冊

<写真等>



中町図書館

事業名称	神楽坂まち飛びフェスタ 2017 夏目漱石のしおり配布
実施日時（期間）	平成 29 年 10 月 14 日～11 月 3 日
会場等	新宿区立中町図書館カウンター
主催・協力機関（協力者）	主催：新宿区立中町図書館 協力：神楽坂まち飛びフェスタ 2017 実行委員会
事業内容	神楽坂まち飛びフェスタ参加企画。 期間中、中町図書館で本を借りた方にオリジナルしおりプレゼント。平成 27 年度からの連続企画だが、29 年は漱石山房記念館開館にちなんで、しおり 4 種のテーマをすべて夏目漱石とした。
参加人数	配布枚数 476 点

<写真等>



中町図書館②

事業名称	ミニ展示「夏目漱石と神楽坂」
実施日時（期間）	平成 29 年 10 月 14 日～11 月 3 日
会場等	新宿区立中町図書館カウンター脇展示コーナー
主催・協力機関（協力者）	主催：新宿区立中町図書館 協力：神楽坂まち飛びフェスタ 2017 実行委員会
事業内容	漱石山房記念館開館記念イベント、神楽坂まち飛びフェスタ参加企画。夏目漱石の著作や漱石と神楽坂の関わりをしのばせる資料を展示した。独自に A4 で 15 枚の展示資料を作成し、手に取って見られるようにした。「坊ちゃん」の中で神楽坂に言及されている箇所や、「それから」の主人公が神楽坂地域に住んでいること、鏡子夫人の祖父宅が矢来町にあり、英国留学後の漱石も一時矢来町に住んでいたことなどを紹介した。本は「坊ちゃん」「それから」「硝子戸の中」など漱石の著作のほか、「漱石の思ひ出」「夏目漱石抄伝・鏡子礼賛」など関連本を展示した。
展示冊数	22 点

<写真等>



角筈図書館②

事業名称	第二回ビブリオバトル@角筈図書館 ビブリオバトルテーマ「ソーセキ」
実施日時（期間）	平成29年9月23日（土）
会場等	新宿区立角筈地域センター7階会議室A・B
主催・協力期間（協力者）	新宿区立角筈図書館 BiblioEi8ht 五十嵐 孝浩
事業内容	ゲームテーマ3つの内の1つを「ソーセキ」として ビブリオバトルを実施した。
参加人数	20名参加

<写真等>



チャンプ本	本のタイトル	作者	出版社	新宿区所蔵
	新・地底旅行	奥泉光	朝日新聞社	○
☆	漱石漫談	いとうせいこう・ 奥泉光	河出書房新社	○
	漱石ゴシップ	長尾剛	文藝春秋社	○

①バトラー:Kさん

紹介した本:『新・地底旅行』奥泉光著



司書をしているKさんはSF以外ではビブリオバトルをしないという剛の者。話の枕に奥泉光の『夏目漱石、読んじゃえば?』を持ってくるものの、真に取り出したのはジュール・ヴェルヌの傑作小説『地底旅行』をなんと夏目漱石の文体を借りて描いた『新地底旅行』! 「もし夏目漱石がジュール・ヴェルヌの『地底旅行』を書いたら」! 行方不明になった稲嶺博士を弟子の平三郎(高等遊民)、主人公の野々村(ダメ人間)、女中のサトラが探しに行く笑える冒険旅行!! 『地底旅行』の続編ということですが、前作とのつながりは?」との質問に、「今作から読んでも大丈夫」とのお答え

②バトラー:K

紹介した本:『漱石漫談』いとうせいこう・奥泉光著 河出書房新社



今回、Kさん多過ぎですね。こちらは角筭図書館の司書をしているKです。今この文章の文責のKです。

テーマが【ソーセキ！】に決まった顛末や夏目漱石の「人の中にいて人とはうまく折り合っていくことのできない孤独」を自分の経験に即しておもしろおかしく説明したところ、あとで「上司を Dis る(非難する)なんて勇気がありますね」「Kさんがそんなことで悩んでいたとはショックでした」などと想定外の感想をいただくことに。詳しい内容は参加者限定ということで。

夏目漱石が大好きな作家の二人が作家の視点から二人で漫談したものを文章化したもので、そのまま読んだのでは難解な部分もある夏目漱石を美味しくいただくためのヒント満載の一冊です。

「この本(『漱石漫談』)を読んでから漱石を読むべきか、漱石を読んでから本を読むべきか、どちらをオススメしますか？」との問いに、「ゲームをやる時に攻略本を熟読する派なら前者を、初回は自力派なら後者をオススメします」と返しました。

③バトラー:Tさん

紹介した本:『漱石ゴシップ』長尾剛著 文藝春秋社



トリを飾るのは初参加のTさん。

「ゴシップ」とは？→おもしろおかしい噂話、ということで、「決して嘘ではない」漱石に関する噂話を収録。著者の長尾剛は25年前は30歳。その取材力が冴える一冊です。漱石の子孫である夏目房之助が声を当てた漱石アンドロイドも俎上に上がりました。

「その本を読んで漱石作品の中から読みたくなったのは？」の質問に「私が独り者だからかもしれませんが、『こころ』の「先生」と「私」は同性愛者ということで読んでみたいですね」とのことでした。

大久保図書館

事業名称	多文化展示 Around the World ～special issue～ 世界の Soseki
実施日時（期間）	平成 29 年 8 月 29 日（火）～10 月 9 日（月）
会場等	館内 多文化コーナー
主催・協力期間（協力者）	主催：新宿区立大久保図書館、協力：国際交流基金ライブラリー
事業内容	世界の様々な言語で翻訳をされた夏目漱石の作品を一堂に集めて展示を行い、漱石文学は、世界に誇れる文学であることを再確認する場とした。漱石が、世界中にいろいろな言語で翻訳をされていることに、閲覧をされている日本の方々には、興味深げに 1 冊 1 冊手に取られ、外国の方々の中には、自分の母語で熱心に読み込まれている姿が見受けられた。閲覧されている方をカウントしたが、95 人の方が閲覧をされた。
展示冊数	50 冊

<写真等>



下落合図書館

事業名称	漱石山房記念館開館記念！ 特別展示 「夏目漱石作品への招待状」
実施日時（期間）	H29年9月5日（火）～H29年10月29日（日）
会場等	下落合図書館 1階特設展示コーナー
主催・協力期間（協力者）	主催/新宿区立下落合図書館 （指定管理者(株)図書館流通センター）
事業内容	新宿ゆかりの作家夏目漱石の本格的な記念館「漱石山房記念館」の開館に合わせて、夏目漱石に関する特別展示を開催。若い世代や漱石作品に触れていない利用者に対しても、新宿区ゆかりの作家・夏目漱石の魅力を知ってもらえるものを目指した。 関連資料の展示に加え、図書館の情報を発信している案内ロボットに、漱石山房の開館のお知らせと電子書籍を用い夏目漱石作品の紹介コンテンツを増設し、漱石になじみの少ない児童や若者に向けても楽しく地域ゆかりの作家夏目漱石を知ってもらう機会を提供した。
展示冊数・貸出数 朗読コンテンツ閲覧数	展示冊数 50冊 貸出回数 108回 回転率 216% Pepper 朗読コンテンツ閲覧回数 281回

<写真等>

